

平成 28 年度資源評価調査報告書（資源動向調査）

都道府県名	福岡県 佐賀県	担当 機関名	福岡県水産海洋技術センター 佐賀県玄海水産振興センター
種名	コウイカ	対象水域	唐津湾

1. 調査の概要

・佐賀、福岡県では、唐津湾関係漁協の仕切り書データを収集、整理し、漁獲物を購入して精密測定及び聞き取り調査を行った。
・漁期終了後、佐賀・福岡両県の唐津湾関係漁協仕切り書データを集計し、除去法により唐津湾における初期資源量（いかかご漁期前の資源量、以下同じ）の推定を行った。

2. 漁業の概要

コウイカの漁場である唐津湾は福岡県と佐賀県の県境であり、両県の様々な漁業でコウイカが漁獲されている。

福岡県ではコウイカを主に漁獲する漁業種類は、いかかご漁業である（主漁期 2～4 月）。H28 年は年間漁獲量の約 92%をいかかごが漁獲し、他ではさし網漁業、小型定置網漁業、小型底びき網漁業、2 そうごち網漁業等が漁獲（混獲）している（表 1）。

佐賀県では、主に小型底びき網漁業（操業期間 1～12 月）、小型定置網漁業、さし網漁業、いかかご漁業（期間 2～6 月）で年間漁獲の 98%のコウイカを漁獲している。特に小型定置網での漁獲が平年より多く、その他に一本釣漁業等が漁獲している（表 2）。

唐津湾全体（佐賀・福岡両県）では、H28 年の年間漁獲量は 19 t、そのなかご漁業による漁獲量は 13 t で、年間漁獲量の 71%を占める。平年と比べかごの漁獲量が減少した。

3. 生物学的特性

イカ類は基本的に寿命が単年性で、コウイカも同様である。成長は雌雄によって異なり、成体の雄は外套背長 140-220mm、雌は外套背長 110-180mm である。生殖腺指数（GSI）は雄では 11 月から 7 月頃まで高い値を示した。雌ではいかかご漁業操業開始時点である 2 月から高い値を示し、5 月下旬も高い値を維持していることから、産卵期は 2-6 月頃まで続いているものと考えられる。

4. 資源状態

福岡県唐津湾では、S52 年以降の年間漁獲量は、H3 年の 383t と H4 年の 364t を除くと、概ね 27t から 234t の間で推移していたが、H28 年は 14t となり、S52 年以降最低となった。前年比 44%、平年比 32%であった。資源水準は、漁獲量が突出した H3、4 年を除いた過去最高値と最低値の差の 3 等分に基づき、14～101t を低水準、101～167t を中水準、167t 以上を高水準とすると、H19 年以降漁獲量は低水準・ほぼ横ばいであった。しかし、漁獲量は H26 年には大きく減少し、H27 年はやや回復したものの H28 年にさらに減少したため、低水準の横ばい傾向と判断した（図 1）。

また、佐賀県唐津湾では、年間漁獲量が 5t となり、前年比 67%、平年比 70%と減少した。

佐賀・福岡両県の唐津湾において H28 年 2-4 月のいかかご漁業によるコウイカ漁獲量は 12t であった。これより唐津湾のコウイカ初期資源量は 44 t と推定された（表 3）。

（推定資源量の検証）

図 2 に残存資源量（取り残し量）と 5 月の小型底びき網漁業のコウイカに対する cpue の関係を示した。なお残存親魚量は初期資源量からいかかご漁によるコウイカ漁獲量を差し引いて求めた。

図 3 に前年秋季（9-12 月）小型底びき網漁業によるコウイカ漁獲量と初期資源量との関係を示した。両検証とも強い正の相関は見られなかった。

5. 資源回復に関するコメント

コウイカは、数少ない冬場の漁獲物として重要な魚種である。コウイカの漁獲量は増加、減少の変動を繰り返してきた。現在は低水準であり、さらに H28 年の漁獲量が大きく減少したため、原因を検証する必要がある。海洋環境や操業に関する情報を収集し、有効な資源回復の手法を検討することとしたい。

佐賀県との共同調査を行うことで、唐津湾におけるコウイカの資源量推定精度の向上を計り、資源管理の推進のための情報を収集していきたい。

表 1 H28 年福岡県唐津湾におけるコウイカ漁獲量(単位: kg)

漁業種類	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
いかかご	0	1,264	5,252	5,212	1,172	116	0	0	0	0	0	0	13,016
さし網	0	0	8	4	24	62	0	0	0	0	0	0	98
小型定置網	0	0	24	4	4	4	0	0	0	0	0	4	40
小型底びき網	0	0	0	0	324	68	0	12	80	208	88	36	816
1そうごち網	0	0	0	0	44	40	0	0	0	0	0	0	84
その他	0	0	0	8	16	4	0	0	0	0	0	0	28
総計	0	1,264	5,284	5,228	1,584	294	0	12	80	208	88	40	14,082

表 2 H28 年佐賀県唐津湾におけるコウイカ漁獲量(単位: kg)

漁業種類	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
小型底びき網	84	36	88	272	797	204	4	0	84	120	120	372	2,181
小型定置網	8	120	416	392	400	52	4	8	0	12	0	28	1,440
さし網	0	72	232	148	169	48	0	0	0	0	0	0	669
かご類	0	92	188	172	0	0	0	0	0	0	0	0	452
その他	0	0	24	20	44	0	0	0	0	0	0	0	88
総計	92	320	948	1,004	1,410	304	8	8	84	132	120	400	4,830

表 3 H28 年唐津湾におけるいかかご漁業で漁獲されたコウイカ漁獲量、及びいかかご漁業漁期前推定初期資源量

①	平成28年2～4月のいかかごによるコウイカ漁獲量	12,180kg
②	①により推定したいかかご漁業漁期前の推定初期資源量	44t

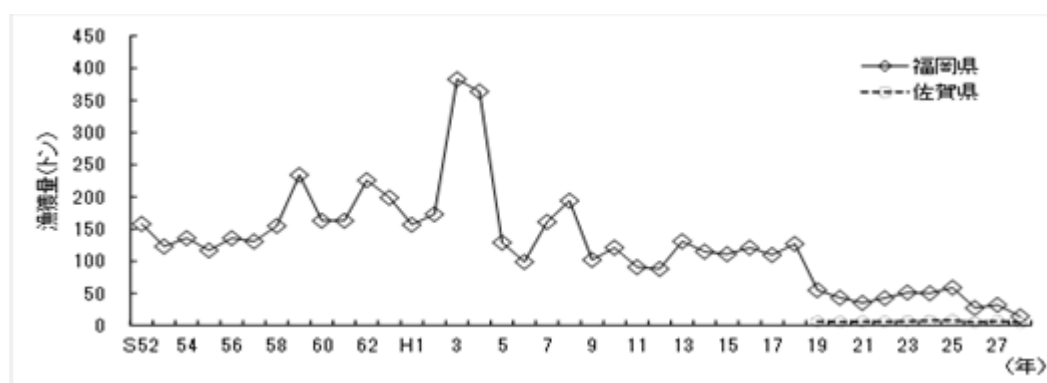


図 1 唐津湾におけるコウイカ漁獲量の推移(全漁業種)

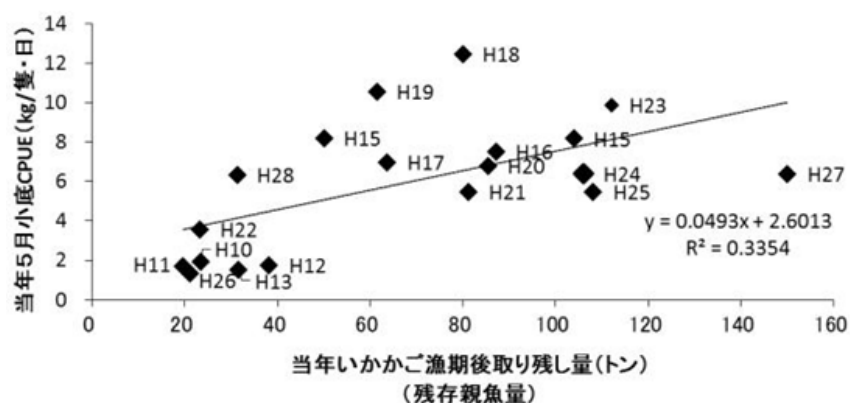


図 2 福岡県唐津湾におけるいかかご漁業漁期終了後の取り残し量 (B-C=いかかご漁期前推定初期資源量-2～4月いかかご漁業漁獲量) と 5 月の小型底びき網漁業のコウイカに対する cpue (D) との関係 アルファベットは参考表参照

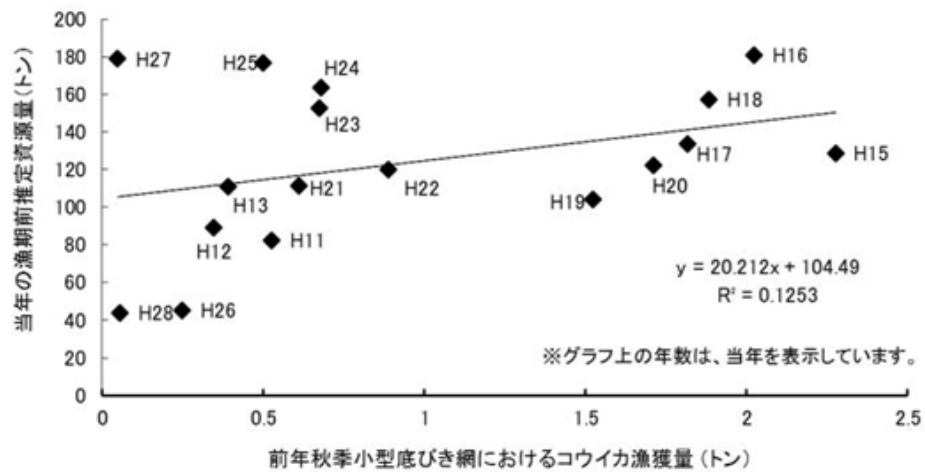


図3 福岡県唐津湾における前年秋季(9~12月)小型底びき網漁業のコウイカ漁獲量(A)といかかご漁業漁期前推定初期資源量(B)との関係 アルファベットは参考表参照

(参考表)

平成27年					平成28年						
8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
前年秋季小型底びき網漁業 漁獲量					Cから推定する 漁期前 資源量	当年いかかご漁業 漁獲量			小型底び き網漁業 CPUE		
A					B	C			D		